

請願受理番号 3

無年金・低年金者に生活支援金の支給に関する意見書の
提出を求める請願

(教育民生委員会)

高齢者の所在不明が次々と報告され、大きな社会問題となっています。背景に高齢者の貧困があることが指摘されています。この10年間、年金は三度引き下げられました。他方、所得税・住民税の増税や、低所得高齢者の住民税非課税措置の廃止など、高齢者の生活を脅かしています。

とりわけ無年金・低年金者の生活はきびしく、安心して老後を送ることができなくなっています。憲法で保障された最低生活を保障することは緊急の課題となっています。

現在無年金者は100万人をこえ、低年金者はその何倍にもなります。国民年金の受給者も苦しい暮らしを強いられています。国民年金保険料の納付率も60%前後まで低下し将来の無年金・低年金者の増加が懸念されています。

山口市内の高齢者から「少ない年金から天引きされ生活できない」「誰も頼れる人がいない。生活保護を受けるしかない」「蓄えも底をついた。将来が不安だ」などなど切実な声が寄せられています。

私たちは「消費税によらない最低保障年金制度」をめざしていますが、制度が実現するまで、多くの無年金・低年金者を放置することはできないことだと考えています。

私たちは一日も早い無年金・低年金者の生活を保障する「支援金」の支給によって、高齢者が安心して暮らしていけるように改善を図ってほしいのです。

よって貴議会において、以下の項目を国に上げていただきますようお願いいたします。

記

- 1 無年金・低年金者に「生活支援金」を支給すること。
- 2 政府として無年金・低年金者の実態を把握し対応すること。

以 上

2010年12月1日

提 出 者

山口市中央4丁目3番3号

山口県労連会館内

全日本年金者組合山口支部

支部長 福 江 孜 介

紹介議員 菊 地 隆 次

山口市議会議長

野 村 幹 男 様